

42期定期総会議案書

議 事

第1部

議長選出、書記任命

第1号議案	41期の総括、42期の活動方針	会長
	41期各部の活動報告、42期の活動方針	各専門部長
第2号議案	OBOG会（準会員制度）規定と運用	事務局長
第3号議案	「第一種基金廃止」と岩田基金組入	事務局長
第4号議案	41期会計報告、42期予算案	事務局長
第5号議案	役員選出	会長

第2部

役員投票結果の発表	会長
役員担当の発表	会長
新旧役員挨拶	

委任状は添付資料最終頁をご利用ください。

2021年6月20日（日） 開場 13：00 開会 13：30 閉会 16：00

場所 市立こうべまちづくり会館2階ホール（元町駅西口から西へ10分）

兵庫県勤労者山岳連盟加盟

神戸中央山の会

KOBE CHUO ALPINE CLUB since1980.9.1.

(目次)

第1号議案	3
41期の総括	3
42期の活動方針	3
各専門部報告	4
山行部	4
ハイキング部	5
組織部	5
事務局	6
教育部	7
機関誌部	8
自然保護部	9
安全対策部	9
第2号議案	10
OBOG会規定	
第3号議案	11
「第一種基金廃止」対応	
第4号議案	11
41期会計報告	
42期予算案	
委任状	

第1号議案

41期の総括

新型コロナウイルスによる感染状況は大変厳しい状況にあります。ゴールデンウィークを前に三度目の緊急事態宣言が発出されました。緊急事態宣言発令中は全ての例会を中止としました。昨年は解除後も夏山登山教室を初め納山祭など多くの行事を中止とし、例会は検温やマスク着用などコロナ対策をして行いました。運営委員会などの会議も多くをリモートで行いました。例年通り活動が出来ない為、41期に限り会費を半額としました。しかし、この情勢の中で山行が減り、体調不良や山への関心が後退し退会された方もあり、39期に8名増え142名だった会員数は40期に1名増の143名、41期は7名減の136名になりました。

11月に堡壘岩で滑落事故がありました。幸いなことに大事に至らずに済みました。事故発生後すぐに参加メンバーにより「事故当日の経緯」が作成され、3日後には安全対策部によるヒアリングを行い、その後山行部により事故の検証、岩登り事故防止対策検討会、12月13日に事故報告を行いました。山行部は岩登り例会をより安全に行うため何度も話し合い検定制度などを作成中です。事故から学び、同じことを繰り返さないことが大事です。

ハイキング部と教育部の連携によりハイキングリーダーも増えてきています。ハイキング部は「京都ブラブラ」「お城シリーズ」に加え新たに「花シリーズ」を設けました。それぞれの例会にファンがついていますが、花シリーズは例会リーダーが次々と現れ近場からアルプス方面へと山域も広がっています。組織部主催の一日登山教室も普段は山行部の例会でしか見かけない人が講師、スタッフとなり、皆で協力して行っています。各部長、部員のアイデア、企画力、行動力、そして会員皆の協力で成り立っていると実感しました。

機関紙「すずの子」もコロナ禍で印刷できない月もありました。例会数が多い当会は例会案内だけで13ページあります。例会案内、編集、印刷と多くの会員の協力により出来上がっています。また、自然保護部もクリーンハイクの中止もありましたが、森守ボランティアで草刈り、登山道の補修を行いました。会計、保険担当、ビジター受付など、会員皆の協力で1年無事終えることが出来ました。

42期の活動方針

新型コロナウイルス感染がいつ収束するかわかりませんが、状況に応じて対策を講じ、コロナに負けず、慎重な行動を心がけ「安心安全登山」を推進し、事故0を目指します。コロナで活動を自粛しなければならない場合もありますが、多くの会員が参加できる多彩な例会企画を行い、楽しい山行を行いたいと思います。また、ホームグラウンドである六甲山の自然を守り、身のまわりにある自然を楽しみます。

各専門部報告

山行部

第41期活動報告

例年通り、縦走、岩、沢、雪山等各種山行や登山教室等教育活動の企画および実施に注力しましたが、コロナ対応や堡壘岩での事故発生等により、安全登山をより強く意識した行動が求められる1年でした。

(1) 例会、自主山行の企画と実施

		例会	参加人数	自主山行	参加人数	個人山行	参加人数
縦走	41期	19回	103名	19回	63名	11回	27名
	40期	12	109	17	21	6	10
岩	41期	36	245	79	296	46	70
	40期	29	221	53	192	11	12
沢	41期	11	81	3	24	2	2
	40期	8	62	0	0	3	5
雪山	41期	9	65	8	39	1	1
	40期	20	114	3	12	7	7
海外	41期	0	0	0	0	0	0
	40期	2	12	0	0	0	0
合計	41期	75	494	109	422	60	100
	40期	64	492	73	225	21	28

40期は、緊急事態宣言下の山行はすべて中止としていました。

41期は、緊急事態宣言下の例会はすべて中止としましたが、自主山行、個人山行はコロナ対応のうえ実施可としました。

(2) 登山教室

前期(夏山)は、コロナの影響で開講を1ヶ月ずらし、6月開講として受講生3名にて実施しました。修了山行は、受講生2名参加にて9月18日から剣・立山縦走を実施しました。

後期(雪山)は、受講生がなく中止しました。

(3) 事故対応

11月15日に堡壘岩での例会で滑落事故が発生しました。

事故対応の詳細はHP掲載のとおり、事故発生直後から会の総力を結集して取り組みました。山行部では、安全の啓蒙、会活動としての岩登りの取組み方の討議を重ね、「岩登り山行の指針」および検定制度を作成しました。来期より運用する予定です。

第42期活動方針

(1) 安全登山の啓蒙と実践

特に岩山行においては、「岩登り山行の指針」の周知と実践に注力し、系統立てた技術習得とレベルに応じた岩山行の運営に努めます。

(2) ハイキング部活動への積極的参加

山行部への活動に協力していただくと共に、ハイキング例会への参加及び、ハイキング例会CLを担当して頂くよう呼びかけます。

(3) 新規山行部例会CLへの積極的なサポート

過去に山行部で実施した例会を紹介することで、新規の山行部例会CLの意欲を引き出します。経験者がサポートを行うことで、新規の山行部例会CLが例会を担当し易い環境を整えます。

ハイキング部

第41期活動報告

第41期はコロナ渦で2020年4月から5月、2021年1月から2月、4月から5月と3回の緊急事態宣

神戸中央山の会 42期議案書
言が発令され、多くの例会が中止になりました。

1. 実施された例会については、人数制限を設けて感染対策に努めました。
2. 人数制限をした上で、なるべく多くの会員が参加できるように例会数を例年よりはるかに多く企画しました。度重なる緊急事態宣言で中止が多かったにも関わらず、多くの参加者数がありました。
3. ハイキング部会を年4回行い、向こう3か月の例会企画と、コロナ渦での例会のあり方等を話し合いました。
4. 会員が県連主催の講座に積極的に参加できるよう奨励しました。

例会回数と参加人数

	例会企画数	例会実施数	中止数	会員参加人数	ビジター	計
41期 (2020.5~2021.4)	165	103	62	1002	53	1055
40期 (2019.5~2020.4)	134	94	40	919	113	1032
39期 (2018.5~2019.4)	118	85	33	773	102	875

第42期活動方針

1. 多様な例会を企画し、誰もが参加しやすい例会づくりに努めます。
2. 会員各層にハイキング例会を担当していただくようお願いしていきます。
3. 教育部、山行部、組織部と協力して各種講座の実施に参画します。
4. 県連主催の各種講座に多くの会員が参加するよう働きかけます。

組織部

第41期活動報告

1. 会員数は143名から136名。前期より7名減。(OBOG会員4名。)
2. 納山祭、新入会員歓迎会など会の行事はコロナ蔓延のため中止。
3. ビジターを対象とした一日登山教室を計画し(10月実施の一日登山教室は4月が雨で中止のためリベンジでの開催)フォローアップ例会を実施(組織部員の負担を軽減するため一般例会にコラボでお願いした。(組織部部員数名参加))

日時	内容	参加者	備考
10月4日	一日登山教室	28名	会員19名ビジター9名
12月13日	納山祭		中止
4月4日	新人会員歓迎会		中止
4月11日	一日登山教室	32名	会員19名ビジター13名
4月14日	高御位山(川井さん)	8名	ビジター1名
24日	とかが山(柳さん)	9名	ビジター1名

41期会員推移

入会者 11名	中村 博幸	山内 修作	井上 永治	森本 英之	南山 房啓	南山 佳子
	古川 勲	山口 恒子	坂東 美碧	小石原修一	永末 泰史	
退会者 18名	河井 隆雄	齊喜 理恵	真野 恵行	道具由美子	八田 隆久	古久保晴夫
	野原 園美	羽瀧 秀樹	若林 りえ	二村 哲夫	稲本めぐみ	辻 由美
	上西 亨	松原 圭介	長ヶ原美帆	名越 理恵	三木真理子	葛城 七美

第42期活動方針

1. 会員数150名を目標に会員の拡大を図る。

神戸中央山の会 42期議案書
第41期活動報告

各講習会を行いました。

講座	月/日	場所		内容	受講人数
夏山登山教室	5/25	事務所	座学	夏山の心得・装備	コロナの影響により中止
	6/11			地図・計画書	
	6/24			歩行・応急手当・食料等	
	5/31	六甲山頂	実技	交流ハイキング	
	6/14	有馬三山		歩荷トレ	
	6/27	行者尾根		歩荷トレ	
	7/11	テント泊		テント泊体験	
	7/12	黒岩尾根		歩荷トレ	
	7/19	地獄谷		岩場歩き	
731-8/2	燕岳	修了山行			
雪山ハイキング講座	12/8	事務所	座学	雪山の心得・装備・食料	7名
	12/26	蓬萊挾	実技	アイゼントレ	8名
	1/24	三峰山		雪山歩行	コロナの影響により中止
	2/6	赤坂山		雪山歩行	
	2/28	武奈ヶ岳		修了山行	
HLT	5/5	丸山公園	実技	ハイキングの為のロープワーク訓練	中止
	7/4				中止
	9/12	城山			ス4名、受2名
	11/7				中止
	12/5				ス8名、受6名
	1/9				ス6名、受6名
	2/13				中止
	3/28				中止
	4/10				ス3名、受2名
	5/9				中止
ステップアップ講座	10/1	事務所	座学	CL心得・計画書作成	12名
	10/8			応急手当	13名
	10/17	大岩岳	実技	読図	中止
	10/25	未定		修了山行	六甲:3名 御在所:3名 リトル比良:4名

1. コロナの影響で夏山登山教室、雪山ハイキング講座実技(後半)が中止となりました。
2. ステップアップ講座は例年3月~4月に開講しておりましたが、コロナの影響で10月に時期をずらして実施しました。
3. HLTを毎月開催としました。雨天やコロナの影響もあり中止となる日も多くありました。

第42期活動方針

1. ハイキング部、山行部、組織部と協力し、会員の登山技術向上、リーダー育成に努めます。
2. 中級登山教室を開講します。(2021/4/29時点で申込者4名)
3. 雪山ハイキングの資料見直しを行います。

神戸中央山の会 42期議案書
第41期活動報告

- ① 機関誌部 機関誌部長 逢坂亜紀、副部長 西田有希
久貝壽祈、小嶋美子、源田定之、嵯峨加津子、北島哲一、奥村奈美、大石恵理子、
藤戸里香、橋本幸治 合計 11名

② 編集クール

41期実績

月号	2020年7～9月	10～12月	2021年1～3月	4～6月
編集	逢坂	小嶋	久貝	西田
例会案内	藤戸	大石(恵)	藤戸	奥村
印刷場所予約	嵯峨	嵯峨	嵯峨	嵯峨

42期予定

月号	2021年7～9月	10～12月	2022年1～3月	4～6月
編集	逢坂	小嶋	久貝	西田
例会案内	大石(恵)	三木(羊)	橋本	奥村

HP担当変更:正:源田、副:西田 すずの子監修:北島

③ すずの子印刷作業活動

紙配布者(2021年5月現在)14名

印刷作業改善のため、印刷場所を新長田合同庁舎から、会事務所に近いあすてっぷ神戸(神戸市男女共同参画センター)に2021年2月より変更しました。

④ ホームページ更新活動

新たに、岡部さん、富本さんに「例会活動レポート」の更新作業を担当いただいています。

第42期活動方針

すずの子を活用した情報発信

HP活性化による会員拡大

自然保護部

第41期活動報告

- 兵庫の山からゴミを一掃する運動。
- クリーンハイクを毎月(8月除く)行ってきましたが、新型コロナウイルス緊急事態宣言で2020年6月、7月、2021年2月、5月は中止としました。

(クリーンハイク参加人数とゴミの量)

2020年6月～2021年5月

月	9月	10月	11月	12月	1月	3月	4月	合計
人数	41名	36名	27名	43名	35名	39名	20名	241名
量	4.4K	4.1K	3.6K	5.3K	2.4K	5.6K	3K	28.4K

3. プルトップを収集しました。

4. クリーンハイク昼食後、安全対策部と連携してアイゼン簡易ハーネス付け方等、ワンポイントレッスンを行いました。

5. 森守ボランティア作業

- ① 6月28日、草刈機の点検をして現場へ道具を運搬する。3名
- ② 7月4日、ヒヨコ小屋から地藏谷登山口迄の草刈り。12名
- ③ 7月11日、前日の豪雨登山道点検。2名
- ④ 8月5日、あじさい広場のアジサイ剪定。周りの草刈り。溝掃除。テーブルのペンキ塗、崩れている所の修理。14名

神戸中央山の会 42期議案書

- ⑤ 8月20日、森林植物園東口近くの堰堤横の草刈り。2名
- ⑥ 9月6日、黄連谷登山口から桜谷出合まで草刈り。5名
- ⑦ 9月19日、9月6日の残り分草刈り。3名
- ⑧ 11月1日、紫陽花広場付近草刈り。6名
- ⑨ 2月5日、登山道整備用資材提供有り。資材置場確認して保護シートを掛ける。2名
- ⑩ 2月27日、山桜苗木2本紫陽花広場で受け取り。2名
- ⑪ 3月1日、山桜植樹、5名。地蔵谷登山口近くの階段補修、2名
- ⑫ 3月7日、資材置場から天狗道登山口まで、クリーンハイク参加者に丸太40本運搬してもらう。その後14名で登山道階段補修。14名
- ⑬ 4月10日、モリアオガエル池の清掃。登山道補修作業。11名

第42期活動方針

1. 兵庫の山からゴミ一掃クリーンハイクに取り組みます。
2. プルトップ取集引き続き行ないます。
3. 自然保護運動。森守ボランティア活動に取り組みます
4. 自然保護部員を募集しています。
5. 自然観察会を行います。

安全対策部

第41期活動報告

1). 県連安全対策委員会

夏山連絡会(2020/7/16木)、冬山連絡会(2020/12/18金)、春山連絡会(2021/4/15木)に出席し、他会安対委員との意見交換を行いました。

2). 2020年11月に発生した重大事故の検証会議を実施し、会としての方針を県連に報告しました。

3). 今期事故報告

ヒヤリハット: 2020/6/6(土)西おたふく山 マダニ被害 70代男性2名 60代女性1名

2020/6/27(土)六甲山 マダニ被害70代男性60代女性

2020/7/1(水)小田原川 マダニ被害 60代男性

2020/8/15(土)笛吹川 溺れる危険 30代女性

事故: 2020/11/15(日)堡塁岩 滑落 40代女性

4). クリーンハイク・ワンポイントレッスン

緊急事態宣言、コースの変更等で今期のワンポイントレッスンは思うように実施できませんでした。

2021/3月	2021/4月	2021/6月
コンパスの使い方	簡易ハーネスの作り方	松葉杖の作り方
久貝 壽祈	田崎 哲聡	柳 仁紘

第42期活動方針

- ・引き続き、絶対に事故を起こしてはならないという観点から、安全登山を全会員一丸となって推進していきます。
- ・県連安全対策行事を案内し会員に参加を促していきます。
- ・年2回、セルフレスキュー講習会を実施します。
- ・クリーンハイクでワンポイントレッスンを実施します。(講師は会員から選出しますので、ご協力をお願いします。)※下記の表は予定です。

2021/7月	2021/9月	2021/10月
ツェルトの設営方法	テントの設営方法	アイゼンの装着方法
2021/11月	2021/12月	2022/1月
ワカンの装着方法	靴紐の結び方	ポウラインノット

2022/2月	2022/3月	2022/4月
シートベント	コンパスの使い方	簡易ハーネスの作り方

第2号議案

OBOG会規定と運用

41期総会議案「準会員制度」への質疑があり、改めて名称を変更し「OBOG会」として提出します。現在4名の方の申込があり、会情報を定期的に配信しています。41期はコロナ禍により具体的な活動ができないため、会員が集まり活動できる環境まで休止とし、会費をプールすることとしています。（10月運営委員会）

OBOGの会

神戸中央山の会の会員として活動してきた人たちが、高齢、病気、その他の理由で、例会参加など会活動に積極的に参加できなくなった方が参加することができます。

（位置付け）

入会を前提としたお試し（ビジター）とは異なり、会から離脱した後も会員とともに会活動を支えることを目的とします。

（特典など）

- 1、緊急時には会に対して救助要請をすることができます。
- 2、HP資料室閲覧は引き続き可能です。
- 3、会の機関紙は実費を負担することで配布を受けることができます。
- 4、納山祭、クリーンハイク、お試しハイク、サークル活動などには参加することができます。
- 5、お試しハイク参加時は参加費が必要となります。
- 6、会活動への提言は歓迎します。
- 7、労山他会への加入の制限はありません。

（会費）

会費は年額1000円とし、6月に全納していただきます。

ただし、

- 1、KCAC会員歴が10年以上あるOBOG会員は「名誉会員」と認め会費を免除します。
- 2、初年度、3000円を納めると「永年会員」として毎年の会費納入を免除します。

（疑義）

本規定について疑義が生じた場合は運営委員会が取り扱いを決めます。

（改廃）

本規定の改廃は総会の議決を要します。

付則

この規定は、2020年6月21日に準会員制度としてスタートしています。

第3号議案

「第一種基金廃止」に伴う処置

拠託基金30万円の返金に伴い、全額を遭対対策積立金（岩田基金）に組み入れることとする。

第4号議案

41期会計報告

6月3日に監査会が行われます。本議案書作成時に間に合いませんので、実施後速やかに会資料室に掲載するとともに、総会当日に別紙配布といたします。

42期予算案

42期一般会計予算		自 2021年5月21日-至 2022年5月20日	
収入の部		支出の部	
前期繰越	230752	連盟費	468000
会計収入	1500000	家賃	518000
活動収入	100000	水道光熱費	19000
その他収入	15000	事務局費	100000
預金利息	22	機関誌部費	0
助成金	133000	山行部費	130000
		ハイキング部費	50000
		組織部費	100000
		教育部費	150000
		自然保護部費	20000
		森守活動費	133000
		安全対策部費	20000
		その他支出	10000
		遑対積立繰入	31200
		OBOG会繰入	4000
		記念事業繰入	110000
		次期繰越	115574
合計	1978774	合計	1978774
OBOG会			
収入の部		支出の部	
前期繰越	4000		
一般会計繰入	4000	次期繰越	8000
合計	8000	合計	8000
記念事業積立金			
収入の部		支出の部	
前期繰越	0		
一般会計繰入	110000	次期繰越	110000
合計	110000	合計	110000

総会欠席

欠席の場合は必ず委任状を提出してください。

期限は6月16日（水）までです。

提出先は事務局長宛 Webフォーム、メール、手渡し、郵送でお願いします。

Webフォーム <https://forms.gle/mSfDPaXtcq6UrEFj9>



メールアドレス kcac1980.info@gmail.com

郵送の場合は会事務所
〒650-0022 神戸市中央区元町通7丁目1-6 日光ビル201号

資料室UP

5/22付でホームページ資料室に議案書をアップし、ダウンロードできるようにします。

-----切り取り-----

委 任 状

私は神戸中央山の会40期定期総会における全ての議題及び議決についての権限を、議長に委任いたします。

2021年 月 日

氏名：